

カラー 特集	2
ジャパンオープン荻村杯2005	
カラー ハイライト	4
第72回全日本学生選手権大会	
カラー ハイライト	6
第18回全国スポーツ・レクリエーション祭	
日本の肖像	10
河原 智(早稲田大学監督)	
大会ハイライト	15
ジャパンオープン荻村杯2005	
大会ハイライト	18
第72回全日本学生選手権大会	
大会報道	21
平成17年度全日本選手権大会(団体の部)	
トレンドウォッチング	22
渋谷卓球倶楽部	
埼玉から世界を目指して	24
埼玉県ホープス強化練習会	
この人のこの言葉	26
藤井基男(卓球愛好家)	
練習のヒント	28
織部幸治(ITS三鷹代表)	
新・中学生のための技術講座	30
田村真人(元・群馬県中体連委員長)	
気ままにタイムアウト	32
佐藤正喜(日産自動車監督)	
アスリートファイル	33
狭間のぞみ(大正大1年)	



ジャパンオープン荻村杯2005で役員をつとめた
旭元機浜市の関係者

フロントランナー	36
平野佑治(日産ジュニア)	
スポーツエッセイ	46
青柳雄介(スポーツライター)	
大会報道	48
関西学生リーグ戦、近畿選手権大会	
訪問レポート	49
流山アストロズ(千葉県)	
各地ラージボール大会	52
広告	54
卓球ファンnet	
ピンポン東西南北	39
第5チャンネル	40
各地レポート	42
みんなのコーナー	56
編集室	56
カラー広告	57

Message

来年12月4日で13回忌をむかえる荻村伊智朗さん(元国際卓球連盟会長)。むかえるに当たり、お三方が「ミスター卓球」荻村伊智朗13回忌に寄せて、の副題のもと「荻村さんの夢」と題した単行本を12月に発行する。お三方とは無名時代から62歳の生涯を閉じるまでお世話をした上原さん、現役時代から亡くなるまで41年間親友として親交のあった藤井さん、一番弟子の織部さんである。

ところで、荻村さんには、長い間、ニッタクニュースに寄稿していただき、単行本も作らせていただくなど、大変お世話になった。借越を承知で一つだけ荻村さんとの思い出を語らせていただくと――。

1979年、第35回世界選手権大会はピョンヤンで開催された。荻村さんをはじめ卓球関係者や報道陣約40数名が

成田を発ち、北京に向かった。私もその中の一人として一行に加わっていた。だが、一つだけ他の人たちは事情が違っていた。私だけが北朝鮮行きのビザを持っていなかった。出発前に、荻村さんから北京でビザを取るよう努力しますが、もし、取れない時は、帰っていただくことになると思います、と言われていた。

夕方、5時ごろ北京に到着。荻村さんはすぐに北朝鮮大使館に向かい、私たちは宿舎に向かった。9時ごろだったろうか、荻村さんから連絡が入った。「おめでとう。一緒に行けますよ」。一人で帰国することも考えていただけに、その言葉を聞いた時は、ホッとしたのと、嬉しかったのと…。おめでとう、という明るい第一声を今でも時々思い出す。(片野)